

令和元年 春季号

仙台市

農業委員会だより

編集と発行 仙台市農業委員会
仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
TEL 022(214)4308(直通)
FAX 022(215)5803

発行日 令和元年5月1日

ホームページ <https://www.city.sendai.jp/shinko/jigyosha/kezai/norin/nogyo/sendaiishi/index.html>



農地利用最適化推進委員連絡会

**農地利用最適化推進委員連絡会開催
並びに「農地等の利用の最適化の推
進に関する指針」を策定しました**

2月15日(金)に平成30年度第2回農地利用最適化推進委員連絡会を開催しました。今回は、農地利用最適化推進の5年後の目標や推進方法を定める「農地等の利用の最適化の推進に関する指針案」について、地区ごとにグループ討議を行い、地域の状況等を踏まえた意見を出し合いました。

推進委員からいただいた貴重な意見を指針案へ取り入れ、農業委員会総会で検討・協議し、3月に指針を決定しました。今後はこの指針に基づき、農業委員及び推進委員は農地等の利用の最適化の推進に向けた活動を行ってまいります。

農業を営むうえで相談事がありましたら、お近くの農業委員、推進委員にお声がけください。

◎主な農地利用最適化推進委員の活動

- ・ 毎月、遊休農地の発生防止・解消のための地域の農地パトロール
- ・ 農地利用意向調査のための戸別訪問
- ・ 農業者年金の加入推進
- ・ 農家からの相談及び助言・指導

平成31年度仙台市農業委員会業務計画

3月27日(水)に、第10回総会を開催し、次のとおり平成31年度業務計画を決定しました。

I 業務方針

我が国の農業・農村は、農業者の高齢化・担い手不足、有害鳥獣被害の拡大や農業所得の大幅な減少等により、農山村の活力の低下など厳しい状況が続いている。加えて、国の米政策改革に基づく米の生産目標の配分廃止から1年が経過し、本市農業の基幹である稲作経営は、生産者や関係団体自ら需給見直し等を踏まえた生産を行っていくなど、新たな局面を迎えている。

また、農産物等の国内生産・消費に大きな影響を及ぼす「環太平洋パートナーシップ(TPP)協定」については、離脱した米国を除く11か国で平成30年3月に署名がなされ、日本を含む6か国の国内法上の手続きが完了し、平成30年12月30日に協定が発効した。依然、米国の農産物輸出入に関する動向は不透明であるが、新たな国際環境の下で、我が国の農林水産

業の体質強化を図っていかねばならない状況である。

このような中、昨年7月15日に新体制となった本農業委員会は、農業委員19人と農地利用最適化推進委員34人が両輪となり、今以上に本市農業の健全な発展に寄与するため、農地利用の最適化を確実に推進することが、ますます重要なものとなっている。

本農業委員会では、その役割と責任を十分に果たすよう、農地法等の許認可審査をはじめ、農業者の皆様と連携を図りながら、「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」(※)を基に、これまで以上に実効性のある地域活動等を推進するものである。

具体的には、第一に「担い手への農地利用の集積・集約化」、第二に「遊休農地の発生防止・解消」、第三に「新規参入の促進」など、農地等の利用の最適化を推進する目標のもと、担い手となる認定農業者や生産組織等を育成し、農地の利用集積・集約化を図るとともに、農地パトロールによる遊休農地の調査と指導、違反転用農地の

是正指導、更に農外からの新規就農の促進などを行い、地域農業の持続的な発展に資するよう対応する。更に、宮城県農地中間管理機構やJA仙台と連携し、農地の集約化等によって生産コスト等を削減し、農業所得の安定・向上に取り組むものである。

II 活動計画

1 農地行政活動

- (1) 農地法及びその他の法令によりその権限に属する事項の審議
- (2) 農地等の利用の最適化の推進に関する指針の実行及び更新
- (3) 農地等利用最適化推進施策の改善意見の提出等
- (4) 利用権設定等促進事業、農地中間管理事業
- (5) 遊休農地の調査と指導
- (6) 農地移動適正化あつせん事業
- (7) 農地の違反転用防止対策
- (8) その他の法令業務

2 農業振興活動

- (1) 地域振興活動の推進
- (2) 農業者年金の加入促進
- (3) 農業委員及び農地利用最適化推進委員の研修

(※)指針：平成31年3月策定

農地法第3条の許可実績

平成30年11月～平成31年2月までの農地法第3条の許可実績は次のとおりです。

区	11月		12月		1月		2月		計	
	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
青葉			1	2,516	4	18,083	4	27,362	9	47,961
宮城野	3	11,060	1	3,084	2	1,420	5	20,271	11	35,835
若林			2	1,117	4	16,925	1	2,042	7	20,084
太白	2	1,113					2	1,969	4	3,082
泉			2	4,449			4	6,323	6	10,772
計	5	12,173	6	11,166	10	36,428	16	57,967	37	117,734

農地利用意向調査

昨年6月に実施した農地利用状況調査の結果を基に、耕作が可能と見込まれる遊休農地について農地利用意向調査を行いました。

農業委員と農地利用最適化推進委員が所有者宅への訪問を行い、意向調査の趣旨を説明するとともに、直接、今後の利用意向を伺いました。



訪問調査の様子

意向調査により農業振興地域内で農地中間管理機構へ貸し付けの意思表明があった農地については、農地中間管理機構へ、農地所有者代理事業の利用希望があった農地については、農地利用集積円滑化団体であるJA仙台へそれぞれ農地情報を提供しました。

今後も地域の農地と担い手の状況や課題に応じて、農業委員、農地利用最適化推進委員及び農業委員会事務局が連携して、より適正な農地利用に向けて取り組みます。

平成31年度 農作業標準料金について

農業委員会では、昨年10月中旬～11月上旬に農作業標準料金支払い実態調査を行い、その結果に基づき企画検討チーム会議等で協議し、1月31日(木)の第8回総会で決定しました。

料金表は「JAせんだい3月号」にA3ピンク色のチラシで折り込んで配布していますので、今年の農作業の受委託をする際の目安としてご利用ください。

なお、仙台市のホームページでもご覧いただけます。

企画検討チーム 副チーム長 加藤和江

農業者年金を受給している皆様へ

(独)農業者年金基金から5月下旬「現況届」の用紙が郵送されます。6月3日(月)から28日(金)までに、最寄りのJA仙台各支店又は農業委員会に、持参若しくは郵送で提出をお願いします。

問い合わせ先 事務課振興係

電話 214-4353

売り渡しあっせん希望農地一覧

農業委員会では、農業振興地域の農用地区域内において、農地の経営規模の拡大、集団化等農用地保有の合理化を図るため、「農地移動適正化あっせん事業」を行っています。あっせん事業による農地の買受申出ができる方は、「認定農業者」、「仙台市内で130アール以上耕作している方」です。売り渡しあっせん希望農地(下表)について買受希望がありましたら事務局にお問い合わせください。

なお、売り渡し希望の方は、農業委員、農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局へご相談ください。

平成31年4月5日現在

Table with columns for region (区), location (所在地), plot name (地目), area (面積), and price (希望価格). It lists various agricultural plots across different districts like Miyagi, Aomori, and Iwate.

※あっせん農地の詳しい情報をお知りになりたい方は、事務局農地係(電話214-4340)まで。

ホームページでもご覧になれます。

農地移動適正化あっせん事業 仙台市

検索 クリック

JA仙台青年部との意見交換会

2月20日(水)、農業委員会委員室において、JA仙台青年部員7名と農業委員・農地利用最適化推進委員9名で、遊休農地対策及び担い手育成をテーマに意見交換を行いました。

青年部の皆様からは、「山間地と平地とでは問題に違いがある」「サフリーマンぐらいの給料になれば、担い手が望める」「農業委員の活動が見えにくい」など終了予定時間を超えても活発な意見が出されました。

意見交換会の貴重な意見については、今後、青年部員の活動や、農業委員・農地利用最適化推進委員の地域に根ざした活動の双方で生かしていきたいと思われました。

(企画検討チーム長 松原菊男)



女性農業者との女子会

1月22日(火)、農業委員等の地域活動として、年代も様々な女性農業者と女性農業委員・農地利用最適化推進委員を含め11名参加のもと女子会(情報交換会)を行いました。



女子会参加者の方々

「新規就農者に対して農業指導してくれる人がいないので困っている」「農産加工のノウハウをもっと知りたい」などの相談に対し、参加者同士でそれぞれに適切なアドバイスが出されました。終始本音を交えた話で盛り上がり、大変充実した女子会になりました。

今後も継続的に開催し、委員として新規就農者への支援や6次産業化の推進など地域活性化の活動に繋げるよう努めます。

(農業委員 加藤和江)

地域振興委員会

2月6日(水)〜12日(火)にかけて、「青葉・泉」「宮城野・若林」「太白」の3ブロックで平成30年度第2回地域振興委員会を開催しました。

今回は、農業委員、農地利用最適化推進委員、認定農業者及びJA仙台職員に参加いただき、「農地行政の役割」と題して仙台の農業を取り巻く状況と、農地利用最適化推進活動の概要について研修を行いました。

その後、地域農業の振興に関して意見交換を行い、農地の集約化、担い手対策の必要性和問題点について、活発な議論がな



宮城野・若林ブロックの様子

されました。

いただいたご意見は今後の施策に反映されるよう進めてまいります。

編集後記

農繁期に突入し、農家の皆様は毎日お忙しい日々を送っていることと思います。

今年はエルニーニョ現象が続いている影響を受け、「北日本では冷夏になる可能性もある」との予報が出ております。気象予報にも気を配りながら、健康に留意し、秋には豊作の黄金色の稲穂を眺めたいものですね。

(編集チーム副チーム長 佐藤とみ)

農業委員会事務局 案内図

農業委員会事務局 青葉区二日町6-12 MSビル二日町6F

七十七銀行 二日町支店

鹿島建設 東北支社

MSビル

仙台ビジネスホテル

日産レンタカー

青葉区役所

仙台市役所

宮城県庁

勾当台公園駅

北日本銀行

ローソン

風の町通り

駐車の際は、市役所本庁舎の来庁者用駐車場をご利用ください。

電話 214-4308